

宇宙開発の現状報告

(平成 23 年 4 月 6 日(水) ~ 平成 23 年 4 月 12 日(火))

平成 23 年 4 月 13 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する海外の動向

- 長征ロケット、航行測位衛星の打上げに成功 【中】
4 月 9 日(日)20 時 47 分(世界標準時)、中国は西昌衛星発射センターより、長征 3A ロケットを打ち上げ、航行測位衛星「北斗 2 号シリーズ」8 機目の所定の軌道投入(静止トランスファー軌道)に成功した。

宇宙開発に関する国内の動向

- 平成 23 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞者の決定について

文部科学省は、平成 23 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞者を、4 月 11 日(月)に発表した。我が国の科学技術水準を内外に知らしめる世界的にも注目される顕著な成果を出した者を対象とする科学技術特別賞として、「小惑星探査機はやぶさの地球・小惑星間往復航行と地球帰還技術の確立」により、JAXA 宇宙科学研究所の川口淳一郎教授、國中均教授、稲谷芳文教授の受賞を決定した。また、我が国の科学技術の発展等に寄与する可能性の高い独創的な研究又は開発を行った者を対象とする科学技術賞(研究部門)として、「軌道上有人施設へのランデブドッキングと補給技術に関する研究」により、JAXA 有人宇宙環境利用ミッション本部 HTV プロジェクトチームの虎野吉彦プロジェクトマネージャー、佐々木宏ファンクションマネージャー、山中浩二フライトディレクターの受賞を決定した。



「地球人の心ぶろじえくと」を利用した援助プログラム

地球人の心

- 活動1：子どもに夢と希望を与える(子どもを国際宇宙ステーション「きぼう」とつなげる)
子どもが教室等で作る作品(地球人の心を表現する、言葉、絵、書道等)を、DVDディスクに収録して、世界中から届として見ることが出来る国際宇宙ステーション「きぼう」に打上げ、発信する。

援助プログラム

被災した子どもに対しても夢と希望を与える。
そのための協力者大人に呼びかける。
(作品の写真を撮影しお返品への電子メール)



- 活動2：教師を援助する(子どもも、自分、他国、自然、地球・宇宙をつなげる)
学校の教師が、専門家(詩人、科学者等)が書き下ろした詩を引用した作品作りを薦められる。
- 活動3：カリキュラムを作る(地球人として生きていく力を育てる教育の実践研究)
本誌とJ&Kとの参加者に対し、作品作りの指導計画や書き方を示したり、他校への情報の呼びかけができるWEB環境を提供。そこで実際に、カリキュラムを作りこんでいく。(相互勉強、発表会等)

● 実施期間 平成23年3月～3年間(4年目からは、会費による持続的な運営目指す)

第1期	作品の受付	平成23年2月～4月25日	打上げ等	平成23年7月(予定)	援助プログラム
第2期	作品の受付	平成23年4月～平成24年3月	打上げ等	平成24年7月(予定)	
第3期	作品の受付	平成24年4月～平成25年3月	打上げ等	平成25年7月(予定)	

- 参加者 会員(学校の教育機関、専門機関(教育委員会、教科書会社)、専門家)
- 平成23年3月現在の参加者
- 学校 豊田範聖女子高等学校、共立女子第二中学高等学校、福岡児童小学校大塚市立立上石津中学校、北小学校、美文小学校、江東小学校、調文小学校、美小学校、豊和中学校、香取市立乙島東小学校、倉敷ふれあい教室、福岡市立簗子小学校、宮崎希望ヶ丘学校の教員他
- 被災した子ども、教師、保護者たち(写真) 援助プログラム
被災した子ども達の仲間

- 専門家 栗津秋雄、谷川俊太郎、新藤靖子、高橋順子、井川清年、渡部英一、堀井啓二、山中悠
- 専門機関 大塚市教育委員会、倉敷市教育委員(協力)
学校図書株式会社、光村図書出版株式会社(協賛)
株式会社学研エデュケーション(協力)
財団法人日本宇宙フォーラム(主催、事務局、Webの運営)
JAXA DVDディスクの打上・保管の責任(きぼう有償利用)